

白子高校 同窓会報

題字 和田吟水(順子) 高 16 回

発行 三重県立
白子高等学校同窓会

☎ 510-0243 三重県鈴鹿市白子 4-17-1
電話 059-386-0017
FAX 059-386-5510

印刷・デザイン 株式会社サラト
☎ 670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
電話 079-284-1380
<https://salat.co.jp/>

白子高等学校の

同窓生の皆様へ



同窓会会長
服部 高明

きたことに感謝しています。

同窓会を通じて、昔話に花を咲かせ、懐かしい友人たちとの再会を楽しむことができ、喜びは言葉に表しきれないものです。今回の同窓会総会も、新たな思い出と感動を共有する場となることでしょう。

さて、今回の同窓会に向けて、さらなる充実を図りたいと考えております。皆様からの意見や提案をお待ちしておりますので、どしどしアイデアをお寄せください。共に素晴らしいイベントを築いていきましょう。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。今回の同窓会でお会いできることを楽しみにしております。

おかげさまで、今年も一年が経ち、新たな同窓会の季節がやってまいりました。皆さんがそれぞれの道で輝かしい活躍をされていることを心から嬉しく思います。

私たちの高校時代は、学生生活を謳歌し、多くの思い出を共有しました。

また、2020年はコロナ禍に見舞われましたが、校創立100周年を迎えることができましたことは、私たちにとても大きな節目となりました。多くの制約の中でも、校の歴史と伝統を守りながら、校創立からの節目を祝うことがで



未来を歩む白子高校生に



白子高校 校長
山口 雅弘

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年4月に本校に着任して2年目を迎えます校長の山口雅弘でございます。どうぞよろしくお願いたします。この3年ほどは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校現場では様々な「密」を避ける行動が求められてきました。しかしながら、この5月8日から第5類相当との判断に移行

して、学校もコロナ前の活気が戻りつつあります。このコロナ禍を過ごしてきた高校生にとっては、行事も縮小されて十分な学校生活ではなかったかもしれませぬ。しかし、この未曾有の感染症下での経験は、決して無駄なものではなく、今後の人類の危機に対しても、毅然と立ち向かえる経験となったものと信じています。

さて、皆さんは「VUCA（ブーカ）」という言葉はご存じでしょうか。「VUCA」とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つの単語の頭文字をとった言葉で、現代社会のビジネス環境を表す概念です。これらの要素は、経済、政治、技術、社会など、あらゆる面での変化や不確実性を示しています。変動性は、市場や環境の変化が急速で予測が難しい状況を指します。不確実性は、未来の出来事や結果が予測できない状況を指します。複雑性は、事象や問題が多元的で相互に関連し合っている状況を指し、曖昧性は、情報が不足または不明確で解釈が難しい状況を指します。

教育の観点から見ると、VUCAは学生たちが将来直面する社会の現実を示しています。そのため、教育者としては、学生たちがVUCAの世界で生き抜くためのスキルや思考力を育てることが求められます。具体的には、クリティカルシンキング（批判的思考力）、コミュニケーション能力、問題解決能力、創造力などが重要となります。また、VUCAの世界では、一つの正解に固執するのではなく、多角的な視点を持ち、柔軟に考えることが求められます。そのため、多様性を尊重し、異なる視点や意見を理解し、受け入れる能力も重要です。さらに、VUCAの世界では、自己学習の能力が求められます。情報が急速に変化する現代社会では、学校で学んだ知識だけではなく、自ら新しい知識を学び、スキルを習得する能力が必要となります。

コロナ禍では、いつ感染症が終息するか等との不安からか、よく口々に「先行きの見通しが見えない」と囁かれてきました。また、最近のAIの発展により、AIがロボット技術と融合したり、単純な認識を伴う仕事は効率化され、分析AIによってホワイトカラーの仕事も大きく転換していくでしょう。これからの社会を生き抜くためには、キルや視点を育むためには、学校教育だけでなく、社会全体での取り組みが必要となります。そして、それぞれの個性や能力を最大限に活かし、共に学び、共に成長することで、VUCAの時代を生き抜く力を育むことができるでしょう。白子高等学校は、地域に根差し、地域を支える生徒の育成を目指しています。今後とも、同窓会の皆様にはより一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後となりますが、皆様のご健康とご活躍を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



吹奏楽コースの近況について

文化教養（吹奏楽）コース 齋田 努

私は赴任して3年目になります。これまで白子高校吹奏楽部は、吹奏楽コース設置前より、園田幸男先生を始めとする歴代の先生方のご努力により三重県を代表するバンドとして活動してきました。その前回は、県内だけでなく県外にも知られる存在でありました。しかし、赴任して感じたことは、一般の方々、吹奏楽部は知っていても吹奏楽コースはご存じではないという実態でした。これは、鈴鹿市内においても同様で、地域の中における白子高校吹奏楽コースの知名度を上げていくことを課題として取り組んで参りました。まずは、授業を取り組んでいる演奏を地域の方々に届けるということ、吹奏楽コースの実習の一環として吹奏楽名義で演奏活動を行いました。そして、昨年度からは、社会福祉協議会とタイアップし、白子地区限定ではありますが、授業の実習（平日の授業中）として、高齢者サロンや福祉施設での演奏に取り組んでいます。土日祝日の演奏は、昨今の教育事情（クラブガイドライン、教員の働き方改革）で実施が難しくなっています。しかし、お客様を前にする演奏機会は、音楽の原点であり、日頃の学習効果を高めるためには重要です。演奏は、聴いて頂く方が、聴くだけでなく、一緒に演奏に参加（歌う）して頂く

ために、選曲は童謡、唱歌、流行歌を中心に、演奏形態もピアノ伴奏のソロと少人数のアンサンブルで行っています。これにより、小さい会場での演奏が可能になり、遠方の会場まで行くことが難しい高齢者の方にも参加して頂くことが出来ました。また、演奏する側にとっても、自身が聴いたことのない、過去の曲を演奏することで、様々なジャンルの曲を勉強する機会となり、更に会場の皆様と一緒に歌って頂くことで、深い学びの場となっています。そして、お客様との距離が近いことで反応をダイレクトに感じることができ、参加した生徒にとっても充実した時間を過ごすことができています。授業中に実施するということ、全ての演奏依頼に応えることはできませんが、継続して実施したいと考えています。



三重県公式カメラ提供



三重県公式カメラ提供

今年の6月には、賢島宝生苑で開催されたG7交通大臣会合レセプションにおいて、歓迎演奏を行いました。ここでは、木管を主体とした編成で、「道中伊勢音頭」、「富士山」、「スーパーマリオブラザーズ」など日本や三重県を印象つける曲を演奏しました。演奏の準備の様子は、マスコミ各社でも大きく取り上げられましたので、ご覧頂いた方も多かったのではないのでしょうか。今後は白子高等学校普通科文化教養（吹奏楽）コースをより多くお願いします。

同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。前回令和3年の報告以降も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な活動に制限がある中で、感染予防対策を行いながら学習活動を実施して参りました。そして、令和5年に入ってから徐々に活動範囲を広げているところです。コロナ禍においては、従来のコミュニケーションをとることが困難で、人間関係の希薄さが心配に思われました。しかし一方で、スマートフォンアプリなどコミュニケーションツールのめざましい発達により、静止画・動画などを駆使し、表現したり、発表したり、と自由にやりとりする新たな時代へと進化を遂げています。また、現2年生以下の学年においては1人1台のタブレットを持って授業を受けています。今年度は、デジタルでのコミュニケーションのとり方についてしっかり学習した上で、学校外に向けての情報発信を頻繁にしていくと考えております。

引き継がれる生活創造科での学び

生活創造科 鈴山いずみ

さて、生活創造科の行事として続けてまいりました高齢者お弁当サービスですが、白子地区社会福祉協議会の解散により、様々な地域の方々と協議した結果、今までどおり民生児童委員さんのご協力を得て、年1回限定数にて配布させていただけることとなりました。今後も地域に根ざした活動として続けていけることは大変ありがたいと思えます。今年度は協議中という中で、春のサービスが見送りとなってしまいました。お持ちいただいたいる高齢者の皆様に、生徒の手書きによるお手紙を送りました。学校住所記入済みの葉書とグリーティングカードを添えて民生委員の方々にお届けいただきました。手紙を受け取っていただいた方々から「秋のお弁当を楽しみに待っています」とのお返事をたくさん頂戴し、生徒たちは、美味しいお弁当をお届けしようと思っております。

このように、地域の皆様と交流させていただくことで、生徒たちは学んだことが実際に生かされることを目の当たりにすることができました。今後の各種検定・コンクールへの意欲につながるものと思われれます。3年生の学びの成果は、2年生の目標となり、1年生のあこがれとなります。令和4年度卒業生は、お魚料理コンクール全国大会入賞をはじめ、各種コンクールでの賞を頂きました。令和5年度の3年生はその後を追いついて、現在作品作りに取り組んでおります。

三重県産業教育フェアですが、昨年からイオン津南において開催されており、今年度も服飾コースはファッションショーに参加、食彩コースは大徳屋長久さんとのコラボレーションでお菓子の販売をいたします。10/21、22はぜひお越しください。

児童福祉の面では、昨年から立ち上げられた愛宕小学校区の子ども食堂「かもめつこ食堂」のメニュー提供とボランティア参加をさせていただいています。昨年度は「イワシつみれの磯辺揚げ」をお弁当として、今年度は「野菜のスティック春巻き」とカスタードプリンをプレートメニューとして提供しました。3年生は検定指定調理のプリンを練習してきた成果として披露することができました。何より子どもたちの嬉しそうな笑顔が見られ、「美味い！」と叫んでくれたと、大変喜んでおりました。

ニュース満タン! 白子高校

4月 入学式・対面式



5月 県総体壮行会



6月 体育祭



7月 クラスマッチ



9月 修学旅行



9月 おさかな料理コンクール



10月 文化祭



11月 高齢者お弁当サービス(生活創造科)



12月 ごみバスターズ(地域清掃活動)



3月 卒業式



吹奏楽部
皆様、こんにちは
吹奏楽部です。』

私たちは3年生13名、2年生28名、1年生26名の合計67名で活動しております。

私たち吹奏楽部は夏にある朝日コンクールをはじめ、中日コンクールや音楽合奏コンテスト、マーチングコンテストなど様々な大会と、毎年初夏に開催しているプレサマーコンサート、冬頃に開催している定期演奏会など演奏会を主な目標に日々練習に取り組んでいます。先生方のご指導と地域の方々の協力のおかげで前年度は音楽合奏コンテスト全国大会S部門で最優秀賞グランプリ・文部科学大臣賞をいただいたり、マーチングの県大会では最優秀賞である山田杯をいただいたり、三重県朝日コンクールでは金賞、県代表をいただくなど結果を残すことができました。

座奏のコンクールは先生方一つ一つ音程を取っていただいたり、表現の方法について教えていただいたり、外部講師の方々に来校し、レッスンを付けていただいたりと技術の向上を目指しています。三重県内の中学生と合同練習も行い、白子高校吹奏楽部について知っていただきお互いの良いところを知っていくという活動もコンクールの練習の一環として取り組んでいます。演奏者全員で一つの音楽をつくっていくという事に苦戦したり悩みながら、精神面でも少しずつ成長をしながら各部門員真剣に音楽に取り組んでいます。

部員全員で取り組むマーチングは毎年1年生では経験したことのない部員も多くいます。座奏での曲の練習の他に、マーチングをご指導して下さる先生と上級生と共に歩いたり、ステップを踏むための動作を基本のものから一つずつ学び、マーチングの専門用語などを覚えていくなどの専門的な練習を重ねています。

コンクールで素晴らしい賞をいただくことも目標の一つではありますが、演奏会ではダンスや演出など演奏をお聞きくださっている方に楽しんで

いただけるための活動にも力を入れております。ダンスは専門の先生に教えていただき、演出は道具や衣装、構成を自分たちで考えて工夫をしています。聞いても美しく、見ても楽しめる、そして奏者も楽しんで表現することができる、そのようなバンドになることももうひとつの目標であります。

また、コロナ禍で機会が減ってしまっていた地域の各施設へ足を運び、童謡や季節の曲をお聞かせする訪問演奏も次第に回数が増えてまいりました。演奏会やコンクールのお客様の人数規制も減ってきて、より多くの方の目に触れる機会も増えることはとてもありがたいことだと思っております。完全に今まで通りでは無いかもしれませんが、少しずつ活動する場と音楽を楽しんでいただける場が増えていくことにも嬉しく感じています。

先輩方が繋いで来てくださった白子高校吹奏楽部、今年度も応援してくださっている皆様のご期待に添えるよう部員一同取り組んでまいります。



クラブ活動 頑張っています

卓球部
『逃げずに勝負!』
男子卓球部主将 中野圭斗

本校男子卓球部は、県内外から集まった13名の部員が日々の練習に汗を流しています。

右も左も分らず入学した2年前はコロナ禍も一段落し、中止になっていた大会が再開された年でした。先輩方の勝負強さに圧倒されながらも、「いつかは自分たちも」と心に強く誓いました。

しかし1年生年末の全国選抜東海予選団体戦でまさかの予選落ちを経験します。覚悟のなさから弱気なプレーに終始し先輩方の足を引っ張り、連続して出場していた全国選抜出場をストップさせるという挫折を味わいました。落ち込んでばかりもいられず、皆で話し合った結果、正月返上で練習に取り組むことにしました。ここが私たちの大きな転機になったと思います。

なんとなく先輩方の後をついて行っていた姿勢が原因だと気づき、自分の意志で積極的に練習に取り組むよ

うになりました。すると以前は試合の苦しい場面になると逃げてしまっていたプレーが、「勝負に負けずに勝つ」と思えるようになり、結果も自ずとついてくるようになりました。



最後のインターハイ予選は全種目の代表を本校で占めることができ、インターハイの前哨戦である東海総体を迎えました。団体戦では難なくベスト4入りし、2か月前の全国選抜でベスト8に入った強豪静岡学園と対戦することになりました。以前なら戦う前から「勝つのは厳しいかな」と腰を引いていましたが、勢いのある後輩たちの活躍もあり大接戦を制することができました。決勝では日本一の愛工大名電に敗れましたが、そこでも一矢を報いることができ大きな自信となりました。

メンタルがプレーに直結し、技術の習得に膨大な時間を要する卓球は、本気で勝ちを目指した選手だけが大切な大会で結果を出すことができます。卓球を通して皆さんの経験をすることができたが、「日頃の地道な努力が成功への唯一の道」ということを知ったのが最も大きな財産です。今後の人生も多くの苦難に直面すると思いますが、この財産がある限り逃げずに勝負できると確信しています。



インターハイは目の前です。臆することなく積み上げてきた経験で、逃げずに勝負してきます。

令和5年度三重県高校総合体育大会等結果

【テニス部】

- 〈女子〉
 (団体)
 1回戦 白子0-3津
 〈男子〉
 (団体)
 2回戦 白子0-3伊勢

【ハンドボール部】

- 〈女子〉
 1回戦 白子27-9桑名
 2回戦 白子8-42四日市商業
 〈男子〉
 1回戦 白子20-31名張青峰

【バレー部】

- 〈女子〉
 2回戦 白子2-0四日市西
 3回戦 白子1-2久居

【サッカー部】

- 1回戦 白子7-0桑名北・石薬師
 2回戦 白子0-7津工業

【野球部】

- 《春季東海地区高等学校野球三重県大会 中地区予選》
 一次予選 1回戦 白子4-9津
 二次予選 1回戦 白子11-8名張
 二次予選 2回戦 白子14-7津東
 二次代表決定戦 白子10-0久居農林
 《全国高等学校野球選手権三重大会予選》
 1回戦 白子1-9菟野

【バスケットボール部】

- 〈女子〉
 《中地区予選》
 1回戦 白子31-65鈴鹿高専
 〈男子〉
 《中地区予選》
 1回戦 白子170-11青山
 2回戦 白子68-65久居
 準決勝 白子50-66稲生
 3位決定戦 白子63-53伊賀白鳳
 《県大会》
 1回戦 白子44-58四日市農芸

【卓球部】

- 〈女子〉
 (団体) 優勝 (28年連続37回目) →インターハイ・東海総体出場
 (S) 優勝 由井心菜
 2位 竹原優梨
 3位 土井華楓
 4位 土井颯月
 →インターハイ・東海総体出場

- 5位 平岡凜花
 6位 西村玲美
 8位 松尾和奏
 →東海総体出場
 (D) 優勝 土井華楓・土井颯月
 2位 由井心菜・竹原優梨
 →インターハイ・東海総体出場
 3位 竹原優梨・平岡凜花
 →東海総体出場
 5位 笹村莉央・伊藤杏莉
 〈男子〉
 (団体) 優勝 (4年連続13回目) →インターハイ・東海総体出場
 (S) 優勝 北村悠貴
 2位 大畑瑛祐
 3位 山野煌介
 4位 古田諷
 →インターハイ・東海総体出場
 5位 松尾尚紀
 6位 中野圭斗
 →東海総体出場
 (D) 1位 林誠也・山野煌介
 2位 北村悠貴・大畑瑛祐
 →インターハイ・東海総体出場
 3位 中野圭斗・松尾尚紀
 4位 古田諷・高橋陸
 →東海総体出場
 5位 八木良祐・中川博琉

【剣道部】

- 〈女子〉
 (団体) 第5位
 1回戦 シード
 2回戦 白子〇-×上野
 3回戦 白子×-〇三重
 〈男子〉
 (団体) 第5位
 1回戦 白子〇-×津
 2回戦 白子〇-×伊勢
 3回戦 白子×-〇四日市工業
 (個人)
 5位 船木大輔
 →東海総体出場

【ボウリング】

- 5位 眞金英麗奈

令和5年度東海高校総合体育大会結果

【剣道部】

- 〈男子〉
 (個人) 船木大輔 1回戦敗退

【卓球部】

- 〈女子〉
 (団体) 第5位
 (S) 第5位 由井心菜
 1回戦敗退 竹原優梨
 1回戦敗退 土井華楓
 1回戦敗退 土井颯月

- 1回戦敗退 平岡凜花
 1回戦敗退 西村玲美
 1回戦敗退 松尾和奏
 (D) 1回戦敗退 土井華楓・土井颯月
 1回戦敗退 由井心菜・竹原優梨
 1回戦敗退 竹原優梨・平岡凜花
 (D) 5位 北村悠貴・大畑瑛祐
 1回戦敗退 山野煌介・林誠也
 1回戦敗退 中野圭斗・松尾尚紀
 1回戦敗退 古田諷・高橋陸
 〈男子〉
 (団体) 準優勝
 (S) 9位 北村悠貴

同窓生通信

高校の思い出

大石 幸生



この度、本誌への寄稿の依頼を受け、普段は全く思い出すことの無い高校時代を思い出す機会を得ました。思い出すに高校を卒業してからはや70年、ずいぶん昔のことで記憶に残っていることは少ないようで、高校時代を思い出す手助けとして学校に残っている当時の資料を見せて頂



くとともに、これを機会に現在の高校も合わせて見たいと思ひ永井教頭先生にお願いし白子高校をお伺いしました。

現在の高校には当時の建物は残っておらず、教室はもちろん、部活動室もよく整備されており、おおきく変わっていると思ひ出しました。今回は、当時のことを思い出すままに書かせて頂きます。

当時、鈴鹿市には高校は神戸と白子にしかなく、また、学区制がありました。白子高校は、戦時中は河芸女子高（1920年創立）でしたが、終戦後、男女共学になり一時、神戸高校と併合していましたが最終的に白子高校として独立しました。

私は昭和25年（1950年）に現在の県立白子高等学校として独立したばかりの一年生、三期生として入学しました。その時の校舎は木造二階建てで正門は北側の道路に面しており、裏門が現在の正門の所にあり、通学の時は、正門は使わず裏門を使っ

ていました。

白子駅には、西出口はなく、もちろん商店街もなく、東出口だけで白子小学校の横の道路を回り踏切を渡って通学していました。

当時はスポーツといえば野球が盛んでしたが、私は友人の誘いでサッカー部（当時は蹴球といいました）に入り、ポジションはセンターフォワード（CF）をしていました。

その時の校域は水路までで、グラウンドは狭く、練習は、昭和25年に現在地に校舎を建てたばかりの白子中学のグラウンドを借り、練習の一環として走って往復した覚えがあります。（白子中学は昭和22年に第八中学校として発足、昭和24年に白子中学校と校名を変更）

日ごろの練習はドリブル、パスやシュートなどはもちろん右利きであった私は、左右どちらからでもできるように特に左足でのシュートに力を入れて練習しました。いまだに手より足の方が先に動くことがあります。

対外試合での思い出は、当時、県内のサッカーの競合校であった伊賀

上野校や四日市へ出かけての試合が楽しかったです。私は背が低いので、ゴール前でヘッドイングのためジャンプした時、背の大きなバックの人のあごに頭があたったことを思い出しました。同級生のサッカー仲間のほとんどはすでに亡くなっています。ご冥福をお祈りします。

修学旅行は一泊で箱根の方に行き夜、宿で友人らと酒を飲んで先生に叱られたことを思い出しました。

高校卒業後は会社に就職、50年ほど勤め、東京、大阪、名古屋、札幌、仙台を転勤し70歳少し前に故郷に帰り、ようやく落ち着いていた日々を送っています。

コロナ流行以前には2、3年に一度、白子高校の28会（昭和28年、普通科、卒業のOB会）の有志により会合をもち、毎回10名少しが集っていましたが2018年以後、コロナにより開催ができなくなっています。が、皆様お元気でしょうか。

白子高校で 培ったこと

一海 汐里

(三重県警察)



私は、平成二十九年度に白子高校を卒業しました。まず始めに私が白子高校に入学して感じたことは、社会人の基本である挨拶を重んじ、規律をしっかり守るということです。入学当初、先生のみならず、来校者や在校生に対しても丁寧に挨拶をされる先輩の姿を見てすばらしいなと思いました。当たり前にする挨拶ですが、基本的なことを疎かにせず取り組む白子高校の教育方針や、先生方の指導は簡単にできることではあ

りません。その中で先輩方の姿を見て、強い憧れを感じたことを覚えています。

高校生活では、挨拶以外にも学校行事も真剣に全力で取り組みました。体育祭や文化祭、球技大会等に、皆が時間を作って集まり、話し合いや練習をしました。皆で努力したからこそ、行事に取り組む度にクラスの絆が強くなってきました。

白子高校の学校生活の中で私が一番印象に残っていることは、部活動です。私は中学生の頃から剣道をしていました。白子高校へ入学した一番の理由は、部活動に力を入れていくと聞き、私も高校で剣道をしかり取り組みたかったからです。部活動では顧問の玉置先生をはじめ、顧問の先生やOBの方々に厳しくも温かい指導を受けました。

私が所属していた剣道部の目標は、全国大会に出場することでした。大会によりますが、全国大会に出場するには、県内で一位になることが必要でした。そのために私たちはお互いに励まし合って、血が滲むような努力をしました。日々の練習に加え、

他県の強豪校との合同練習や練習試合等、厳しい部活動に時は心が折れそうなきもありません。しかし、一緒に練習した仲間がいたからこそ、乗り越えることができました。どれだけきつくても、練習や試合中に聞こえる仲間の声援で頑張ることができました。その結果、全国大会や東海大会に出場することができました。

高校生活で培った粘り強さや大切な仲間との繋がりは、今の私たちの支えになっています。高校時代の仲間とは現在も交流があります。仲間同士、悩み事があれば真剣に話を聞き、アドバイスをし合ったり、息抜きに食事に行ったりしています。

私は白子高校卒業後、三重県警察へ就職し、現在は鈴鹿警察署で勤務しています。警察官としての仕事は、治安や市民の方々の安全を守り、とてもやりがいがあります。一方、責任が重く、精神的にも体力的にも疲れて、大変な日もあります。仕事が多すぎて、高校時代の仲間や経験が

あるからこそ、頑張りが続いていることができている。これからは高校時代の仲間や経験を大切にして、自分の生活に活かしていきたいと思っています。そして、お世話になった方々に恩返しができるようにこれからも学んだことを心に刻み、歩んでいきます。



当たり前前の日々に 感謝

白 神 ひかる

(関西学院大学文学部4年生)



白子高校を卒業して三年が経ちました。この三年で色々なことがありましたが、私にとってそれ以上に自分を変えてくれ成長できたのは、白子高校での三年間でした。

高校生活で特に力を入れていたのは部活動です。卓球部に所属し、一年生から県総体のレギュラーに選ばれました。毎日、朝練と放課後遅くまで人一倍練習を行い、練習以外にもランニングやトレーニングで自分

自身を追い込んでいきました。その甲斐もあり、県総体では、学校対抗の部、ダブルスの部、シングルの部と優勝して三冠を達成し、その後インターハイでもダブルスの部で三位入賞という結果を収めることができました。

このように、充実した学校生活を送っているように見えたのですが、高校一年生の時初めての挫折を味わいました。病気を患ってしまい、卓球ができません。学校にも行けない日々が続きました。当時は、自分が「何のために生きているのか」、「何がしたいのか」が分からなくなっていました。先の見えない暗いトンネルを歩いているような感覚で日々を過ごしていました。そんな時、私に光を照らしてくれたのは私を支えてくれる周りの人たちの存在でした。親、学校の先生方、クラスメイトなど、沢山の先生方が言葉をかけてくれ、心から支えてくれて、私の「居場所」を作ってくれました。それがきっかけとなって、「支えてくれてる人たちに恩返しをしたい」と思うようになり、ま

た無事に学校生活を送ることができるようになりました。

当時は、その時のことをすぐく後悔しました。「あの経験がなければ」とマイナスに考えてしまうことも多かったです。しかし、あの経験がなければ私自身は変わっていなかったし、成長できていなかったと思っています。なぜなら、当たり前のように学校に行き、当たり前のように卓球をして、当たり前のように笑う。そうした当たり前のができなくなつた時、私の当たり前の日常は沢山の人の支えられているからできることなのだ実感したからです。

だからこそ、私は白子高校の先生方には感謝してもきれない気持ちで一杯です。あの時の先生方の支えがなければ今の私はありません。そして、先生方のように、生徒に寄り添えるような人になりたい、人の成長の過程に携わる仕事がしたいと思、教師を目指すようになりました。そのために、大学進学では卓球と勉強を両立でき、尚且つ将来の夢である教師を目指すことができる大学を

志望しました。

現在は、志望していた大学で卓球を続けながら、夢である教師を目指して勉強しています。今年度の六月には、母校である白子高校で教育実習をさせて頂きました。先生方や生徒から学んだ数々のことを活かして、夢を実現することができるようになればからも精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、人生百年だと考えると高校生活はそのうちの三年間しかありません。一日一日を大切に、これからも皆さんが笑顔で人生を歩んで頂けるよう応援しています。また、その中で大きな壁にぶつかることや苦しい経験をすることもあると思います。その時は、一人で抱え込まずに周りの人を頼ってください。白子高校には皆さんに心から寄り添ってくれる温かい先生方がたくさんいます。在校生、卒業生の皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



同窓会総会のご案内

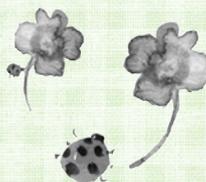
日時：令和5年11月18日（土）10時～

場所：白子高校会議室

多数の会員のご出席をお願いします。

なお、ご出席の場合は、前もって事務局までお知らせください。

【事務局 059-386-0017】



同窓会報の郵送について

同窓会報の作成費が値上りすることを受けて、先日の役員会で、同窓会報を本校HPに掲載することにより、郵送は4年毎にする案が提案されました。総会にて協議されますのでお知りおき下さい。

なお、現在も以下のURLまたはQRコードにて前号の会報をご覧になることができます。

URL：<http://www.mie-c.ed.jp/hsirok/alumni-association/>



QRコード

卒業証明書・成績証明書等の発行について

卒業証明書等の交付申し込みは、月～金曜日の8時20分～16時50分に、まず白子高校事務室に電話で問い合わせてください。名前、卒業年度等をお聞きして、作成、発行いたします。その際、手数料として1通につき350円の三重県証紙(三重県内の銀行で発行)が必要です。

また、成績証明書は卒業後5年間に限り発行しますが、それ以後は単位修得証明書の発行となり、いずれも350円分の三重県証紙が必要です。

いずれの証明書もすぐに発行できませんので、事前に下記までご連絡ください。

【白子高校事務室 059-386-0017】

同窓会 Q&A

- ◎会費(会計)
- ◎高校との接点
- ◎総会

現在の役員は最後のページの方々です。

Q 現在の「会員数」はどのくらいですか？

A 母校の前身は旧制河芸高等女学校、その創立は大正九年四月十七日となっています。新制白子高等学校に引き継がれるまでの二十六年間に二、三二二人が卒業しました。白子高校のスタートは昭和二十三年、平成三十一年三月までの間に約三三、五〇〇人が卒業しました。

河芸高女会員と新制高校会員を合わせると、約二五、七〇〇人となります。

Q 同窓会の「会費」はどうなっていますか？

A 同窓会の会費は在学時に月々二〇〇円を徴収し、三年間の合計が七、二〇〇円、これが終身会費となっています。また、これが収入の総てです。支出の主なもの、全国大会に出場するクラブの援助、その他の特別な教育活動に対するの補助、優秀生徒表彰品、総会・役員会の経費等として使われています。

また、特に大きな支出としては会報の発行費用で、

今回の会報では約二三五万円
の経費がかかっています。
さらに、図書室の机・イス
の寄贈を行いました。

Q 同窓会と白子高校の「接点」は？

A 毎年、卒業式の前日に「同窓会入会式」が行われます。同窓会長が入会の祝辞をしています。平成二十四年度から同窓会入会式後に優秀模範生徒表彰が同窓会長から授与され、毎年三十数名ずつ表彰されています。

A 会員名簿を発行しています。創立百周年を機に、名簿の整理も必要となり、また、学年の同窓会やクラブ総会の連絡網の整備も考えた上、同窓会名簿を令和元年六月に発行しました。

A また、全会員に郵送される「同窓会報」は二年毎に発行の予定で、白子高校の近況と会員の活躍ぶりをお知らせしたいと思えます。

会員の皆さま方の住所変更が連絡されていないとお届けすることが出来ません。住所変更がありましたら、必ず白子高校の事務局までご連絡ください。

【〒五二〇一〇二四三】

鈴鹿市白子四一七七一

白子高校同窓会事務局

TEL〇五九一三八六〇〇一七

Q 「総会」はいつ開かれていますか？

A 「総会」は二年ごとに開催し、会長・副会長・会計・監査を任命する…と定められています。

学年幹事の皆さまには事務局より案内状を送付してありますが出席状況は芳しくない現状です。学年の代表として同窓会の運営に意見を述べ、指針を示していただきたいと思います。

また、一般会員の皆さま方には、この会報が案内となります。

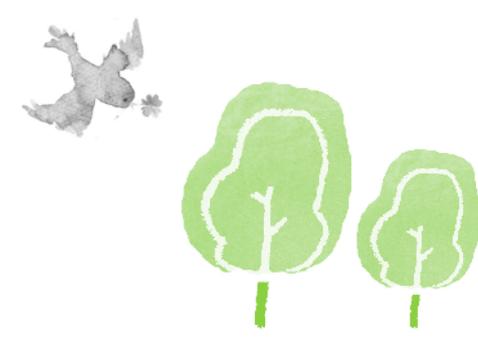
今、白子高校は元気に満ち溢れています。生徒の明るい挨拶は、地元の方々や来校された方々の間でも評判となっています。総会をきっかけに、白子高校に足を運んでみてはいかがでしょうか？

出席を希望される会員の方は、準備の都合もありますので、事務局まで前もってご連絡をお願いします。

同窓会は会員の皆さま方の

ものです。先輩として、後輩の行動や母校の動向に大いに関心を持っていただき、後輩の育成、母校の発展に協力をお願いいたします。

【本年度の総会】
十一月十八日(土)
十時より
白子高校会議室



同窓会役員

会 長	服 部 高 明	高 28
副 会 長	村 木 尚 哉	高 40
副 会 長	久 畑 年 生	高 41
書 記	達 知 利 雄	高 36
会 計	後 藤 真 吾	高 39
顧 問	山 鹿 昇	高 16

会計監査	川 北 秀 幸	高 17
常任幹事長	岩 崎 功	高 07
常任幹事	奥 野 静 生	高 18
常任幹事	日 置 恒 文	高 19
常任幹事	岡 本 晃 宏	高 29
常任幹事	岡 本 昌 宏	高 33

常任幹事	加 藤 丈 晴	高 50
常任幹事	西 尾 佑 輔	高 61
顧 問	村 上 悠 馬	高 52
顧 問	森 雅 幸	高 56

学 年 幹 事 一 覧

[河芸高女]

No.	回	卒業年	氏 名
1	13	昭 11	黒 部 あ い
2	14	昭 12	児 玉 喜 美
3	14	昭 12	谷 内 ひで子
4	17	昭 15	寺 村 志 ず

5	18	昭 16	平 田 喜久代
6	19	昭 17	唯 見 ち 糸子
7	19	昭 17	田 中 あ い
8	21	昭 19	丘 悦 子
9	21	昭 19	中 野 きみ子

10	22	昭 20	西 脇 玲 子
11	22	昭 20	辻 みさ子
12	24	昭 22	中 條 祐 子
13	25	昭 23	佐 野 美枝子

[白子高校]

No.	回	卒業年	氏 名
1	1	昭 26	長谷川 道 子
2	2	昭 27	都 梅 基 治
3	2	昭 27	我 藤 公 勇
4	3	昭 28	松 田 徳 夫
5	3	昭 28	金 子 伊都子
6	4	昭 29	田 中 邦 彦
7	4	昭 29	佐々木 俊 綱
8	5	昭 30	松 城 正 喜
9	5	昭 30	誓 山 信 孝
10	6	昭 31	樋 口 祥 己
11	7	昭 32	宮 崎 敬 子
12	7	昭 32	岩 崎 功
13	8	昭 33	稲 垣 弘 泰
14	8	昭 33	草 野 靖 生
15	8	昭 33	矢 田 泰 司
16	9	昭 34	柘 植 基 一
17	9	昭 34	舟 田 博 治
18	10	昭 35	宇 田 英 毅
19	10	昭 35	河 合 益 男
20	11	昭 36	杉 谷 哲 也
21	12	昭 37	永 田 茂
22	13	昭 38	唐 松 孝 治
23	13	昭 38	中 川 万壽美
24	13	昭 38	松 井 陽一郎
25	14	昭 39	宮 崎 雄 三
26	14	昭 39	佐々木 清 和
27	16	昭 41	梅 川 洋
28	17	昭 42	木 下 哲
29	17	昭 42	奥 田 洋
30	17	昭 42	多 田 美紀雄
31	18	昭 43	桑 名 研 二
32	18	昭 43	奥 野 静 生
33	18	昭 43	鈴 木 幸 男
34	19	昭 44	水 谷 誠
35	19	昭 44	小 林 重 治
36	20	昭 45	北 川 貢
37	20	昭 45	前 田 茂
38	21	昭 46	木 邑 欽 弥
39	22	昭 47	片 岡 直 哉
40	22	昭 47	水 江 則 博
41	23	昭 48	長 谷 昇
42	24	昭 49	田 川 清 美
43	26	昭 51	長 島 正 美
44	26	昭 51	前 原 昭 彦
45	27	昭 52	米 倉 満 幸
46	27	昭 52	平 野 広 美
47	27	昭 52	松 本 みゆき
48	28	昭 53	佐 藤 勝 則
49	28	昭 53	吉 田 玲 子

50	29	昭 54	辻 岡 弘 史
51	29	昭 54	伊 藤 典 子
52	30	昭 55	渥 美 比呂志
53	30	昭 55	岩 谷 和 則
54	30	昭 55	玉 泉 幸 久
55	31	昭 56	内 藤 健 治
56	31	昭 56	前 田 正 也
57	31	昭 56	樋 口 美佐子
58	32	昭 57	大 佛 英 樹
59	32	昭 57	別 府 典 明
60	32	昭 57	中 川 喜 江
61	33	昭 58	益 川 英 明
62	33	昭 58	岡 本 昌 宏
63	33	昭 58	伊 高 美由紀
64	34	昭 59	羽垣内 功
65	34	昭 59	大 島 美 智
66	35	昭 60	宮 原 直 美
67	36	昭 61	内野井 公 一
68	36	昭 61	藤 本 廣 治
69	37	昭 62	山 本 有 恭
70	37	昭 62	新 開 登志江
71	38	昭 63	徳 澄 大 輔
72	38	昭 63	笠 井 めぐみ
73	39	平 01	山 野 義 信
74	40	平 02	村 木 尚 哉
75	40	平 02	中 村 ひとみ
76	41	平 03	杉 野 志 郎
77	41	平 03	田 所 久 実
78	42	平 04	三 谷 英 樹
79	42	平 04	長谷川 悦 子
80	43	平 05	岩 永 大 悟
81	43	平 05	武 田 由美子
82	44	平 06	奥 野 香 裕
83	44	平 06	信 田 麻 記
84	45	平 07	嶋 谷 潤 一
85	45	平 07	廣 森 祐 介
86	45	平 07	奥 山 裕 子
87	46	平 08	土 山 義 嗣
88	46	平 08	蛇 原 千 絵
89	46	平 08	本 岡 朋 美
90	47	平 09	多 武 智 華
91	47	平 09	熊 谷 尚 也
92	47	平 09	木 下 良 一
93	48	平 10	中 濱 厚 志
94	48	平 10	堤 美和子
95	49	平 11	尾 崎 嘉 一
96	49	平 11	生 川 雄 通
97	49	平 11	前 山 幸 美
98	50	平 12	加 藤 丈 晴
99	50	平 12	伊 藤 ゆみ子

100	51	平 13	岩 田 和 久
101	51	平 13	花 尻 聖 士
102	52	平 14	大久保 幸 美
103	52	平 14	岩 崎 久 英
104	53	平 15	鈴 木 一 弘
105	53	平 15	渥 美 雄 一
106	53	平 15	岩 田 可奈子
107	53	平 15	傘 谷 加 那
108	54	平 16	平 田 正
109	54	平 16	金 野 有佳子
110	55	平 17	田 中 良 典
111	55	平 17	加 藤 礼
112	56	平 18	東 大 輔
113	56	平 18	柳 瀬 綾
114	57	平 19	内 田 貴 士
115	57	平 19	藤 本 あや乃
116	58	平 20	横 山 優 磨
117	58	平 20	山 宿 史 織
118	59	平 21	鎌 倉 崇 行
119	59	平 21	佐 野 晴 香
120	60	平 22	中 村 将 吾
121	60	平 22	上 村 恵 子
122	61	平 23	橋 爪 秀 貴
123	61	平 23	前 田 優 兵
124	62	平 24	水 谷 洋 輔
125	62	平 24	金 澤 夏 海
126	63	平 25	打 田 一 真
127	63	平 25	内 藤 優 月
128	64	平 26	杉 永 紗耶佳
129	64	平 26	晒 谷 莉 奈
130	65	平 27	近 藤 愛
131	65	平 27	田 代 大 策
132	66	平 28	大 島 諒 香
133	66	平 28	牧 添 聖 弥
134	67	平 29	川 本 流 勢
135	67	平 29	伊 藤 樹
136	68	平 30	黒 川 花 凜
137	68	平 30	岡 根 貴 紀
138	69	平 31	番 条 晃 大
139	69	平 31	濱 中 香 凜
140	70	令 02	堀 江 巧 人
141	70	令 02	丹 羽 里莉加
142	71	令 03	岡 野 未 空
143	71	令 03	小 倉 三 玖
144	72	令 04	庄 司 圭 佑
145	72	令 04	儀 賀 達 実
146	73	令 05	遠 田 彩 花
147	73	令 05	藤 本 泰 斗